

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和04年08月26日

計画の名称	福井県における循環のみちの実現その2（防災・安全）														
計画の期間	平成28年度～令和02年度（5年間）												重点配分対象の該当		
交付対象	福井県														
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。														
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		4,600	A	4,600	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（H28当初）	（H30末）	（R2末）
1	長寿命化対策率を0%から100%に向上させる。			
	長寿命化対策率 長寿命化対策済み施設数（箇所）／R2末時点で長寿命化対策が必要な施設数（16箇所）	0%	50%	100%
2	下水道施設の地震対策率を0%（H28）から100%（R2）に向上させる。			
	地震対策率 地震対策済み施設数（箇所）／R2末時点で地震対策が必要な施設数（10施設）	0%	60%	100%
3	下水道施設のストックマネジメント計画策定率を0%（H28）から100%（R2）に向上させる。			
	ストックマネジメント計画策定率 策定済みストックマネジメント計画数（計画）／策定すべきストックマネジメント計画数（1計画）	0%	0%	100%
4	緊急対策率を0%（H31）から100%（R2）に向上させる。			
	緊急対策率（非常用発電設備の設置・関連施設の機能強化等） 対策済み箇所数（箇所）／R2末時点で対策が必要な箇所数（2箇所）	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	☐	国土強靱化を含む	☐	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	福井県	直接	福井県	終末処 理場	改築	九頭竜川浄化センター、 ポンプ場、管路施設	設備長寿命化対策実施	福井市、坂井市 、あわら市	■	■	■	■	■	3,400		策定済
		長寿命化																	
	A07-002	下水道	一般	福井県	直接	福井県	終末処 理場	改築	九頭竜川浄化センター、 ポンプ場、管路施設	耐震調査設計、耐震工事、浮 上防止工事	福井市、坂井市 、あわら市	■	■	■	■	■	700		-
	A07-003	下水道	一般	福井県	直接	福井県	終末処 理場	改築	九頭竜川浄化センター、 ポンプ場、管路施設	ストックマネジメント計画策 定、点検・調査業務、設計業 務	福井市、坂井市 、あわら市			■	■	■	130		策定中
		ストックマネジメント																	
	A07-004	下水道	一般	福井県	直接	福井県	終末処 理場	改築	九頭竜川浄化センター、 ポンプ場	非常用発電設備の設置・関連 施設の機能強化等	坂井市				■	■	320		-
	A07-005	下水道	一般	福井県	直接	福井県	終末処 理場	-	九頭竜川浄化センター、 ポンプ場、管路施設	広域化・共同化検討業務	福井市、坂井市 、あわら市				■	■	50		-
										小計							4,600		
										合計							4,600		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
福井県において評価を実施	事業完了後
	公表の方法
	福井県ホームページに掲載
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	ストックマネジメント計画の策定、長寿命化対策、地震対策および非常用発電設備の設置・関連施設の機能強化等を実施したことで、公共用水域の水質保全に寄与することができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
今後も、ストックマネジメント計画に基づき、計画的かつ効率的に下水道施設の改築更新を進め、安定した下水道事業の運営に努めていく。	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	長寿命化対策率		
	最 終 目標値	100%	当初の予定どおり事業を進めることができた。
	最 終 実績値	100%	
2	地震対策率		
	最 終 目標値	100%	当初の予定どおり事業を進めることができた。
	最 終 実績値	100%	
3	ストックマネジメント計画策定率		
	最 終 目標値	100%	当初の予定どおり事業を進めることができた。
	最 終 実績値	100%	
4	緊急対策率（非常用発電設備の設置・関連施設の機能強化等）		
	最 終 目標値	100%	当初の予定どおり事業を進めることができた。
	最 終 実績値	100%	

参考図面（防災・安全交付金）

